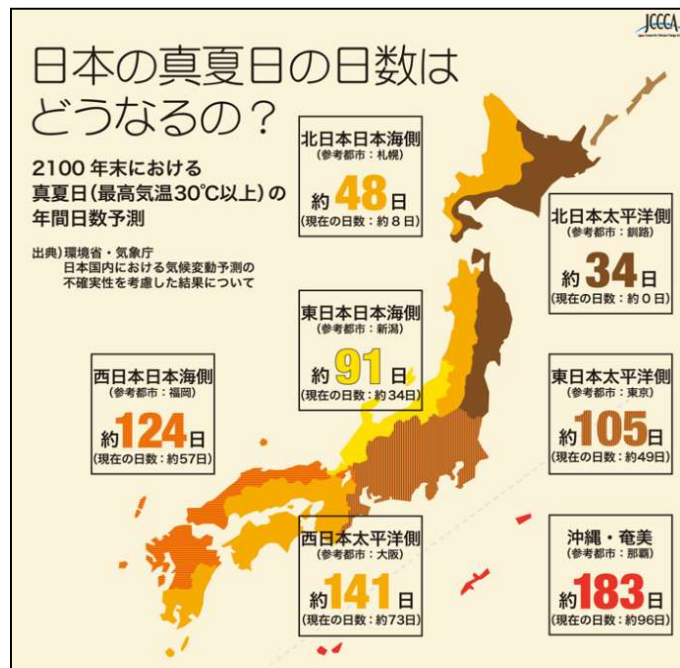


長い夏を省エネに快適に暮らすコツ

どんどん厳しくなる日本の夏



気象庁の分析・報告によると、**真夏日(最高気温30℃以上)**や**猛暑日(35℃以上)**の日数が増加していること、**夏の始まりが早まり、終わりが遅くなる**傾向が明らかになっています。

主な例として、

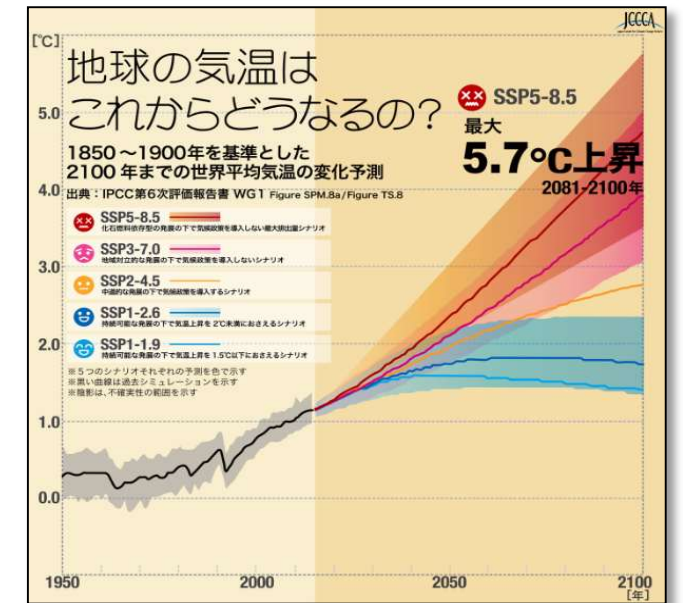
- **平均気温の上昇**：東京の平均気温は100年前に比べて約3℃上昇
 - **猛暑日・真夏日の日数の増加**：猛暑日は100年あたり約2.3日、真夏日は同じく約12.7日増加
 - **熱帯夜の日数の増加**：日最低気温が25℃以上の「熱帯夜」の年間日数は100年あたり約19日増加
- このようなものが挙げられます。

国際的な報告でも、地球全体の気温上昇(地球温暖化)により、**夏の期間が長く、冬が短くなる傾向**が報告されています。

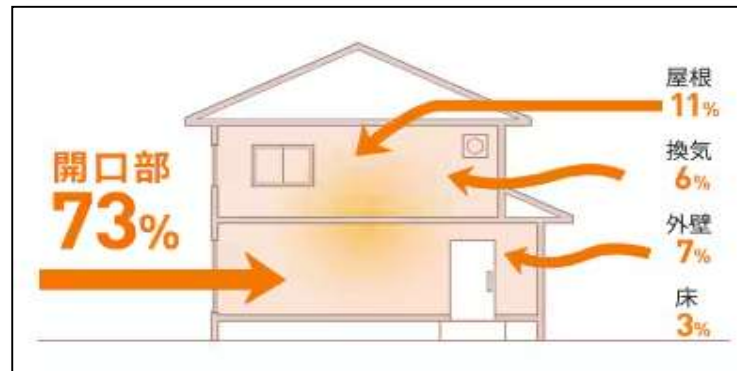
特に日本が属する中緯度地域では、「夏」と定義される高温期間が数十年で数週間単位で長くなっています。これは地球温暖化の影響で四季の移行タイミングがずれていることによるものです。

大学などの研究結果では1952年から2011年にかけて、日本が属する北半球の夏が平均して17日長くなったと報告されています。

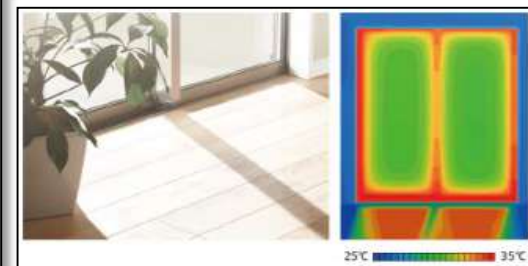
これらを踏まえると、日本は夏の長期化・冬の短縮、極端な高温や豪雨の増加など、**気候変動の影響が顕著に現れる地域**といえるでしょう。



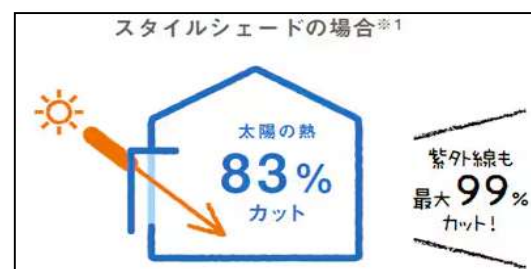
過酷な「長く暑い夏」を省エネに快適過ごすために、福富住宅がオススメする日除けアイテム「スタイルシェード」とは



夏場、**室内に入ってくる熱(暑さ)の約70%は窓から**だといわれています。いかに暑さを室内に侵入させないかが、省エネに過ごすコツです。



窓に「スタイルシェード」をつけると・・・



室外で陽射しをカット

カーテン等の場合、室内まで熱が入ってきて、そのままこもってしまいます！スタイルシェードなら、熱の大部分を窓の外側でシャットアウトできるので、室内の温度上昇をしっかり抑えられます。

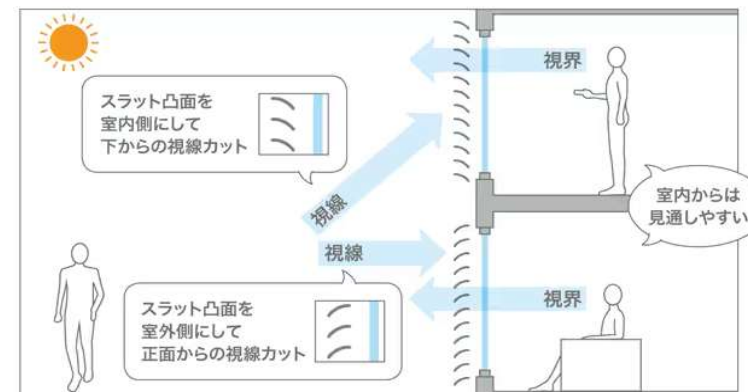


福富住宅がオススメする日除けアイテム「外付けブラインド」とは

日除けアイテムとして「外付けブラインド」もオススメです。

屋外から室内に入ってくる「熱・風・光・視線」すべてを窓の外側でコントロールが可能です。リモコンでの遠隔操作になるので、手が届かず直接の操作が難しい窓への取付が可能です。

また、開閉だけでなく「角度調整」ができるので、光を完全に遮断することなく室内の快適を保つことができます。プライバシーもしっかりと守ってくれます。



熱 夏はさえぎり、冬は取得で心地よく快適に	風 高い採風性で自然の風を探り込む
光 室内にちょうどよい明るさを	視線 家族のプライバシーもしっかり守る